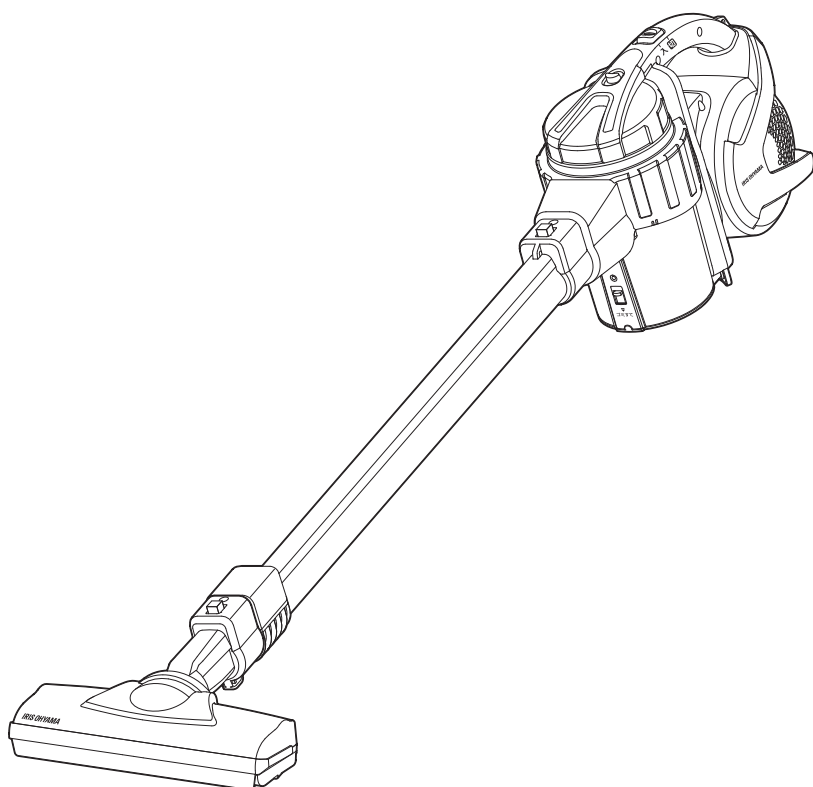


スティッククリーナー IC-SM1

取扱説明書



もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
使用上のお願い	3
各部の名称	4
ご使用前の準備	5

掃除のしかた

使いかた	6
収納のしかた	7

掃除のあとに

ごみの捨てかた	8
お手入れのしかた	9

こんなときには

故障かな？と思ったら	14
仕様	15
保証とアフターサービス	15
保証書	裏表紙

保証書付

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



.....
してはいけない「禁止」内容です。



.....
しなければならない「強制」内容です。

⚠ 警告



必ず実施

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

発煙、発火、感電のおそれがあります。

〔異常の例〕

- ・ こげくさいニオイがする
- ・ 電源プラグ、電源コードが異常に熱くなる
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ・ 運転中時々止まる
- ・ 運転中、異常な音がする
- ・ 触れると電気を感じる

- お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



禁止

灯油・ガソリン・シンナーなどの引火性のあるもの、火の気のあるもの、トナーなどの可燃性のものを吸わせたり、そばで使わない
火災の原因になります。



分解禁止

絶対に分解・修理・改造はしない
発火・けが・異常動作の原因になります。



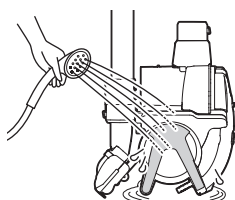
水ぬれ禁止

水まわり、風呂場など湿気のある場所での使用は絶対にしない

ショートによる発火・感電の原因になります。

本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない

感電・故障の原因になります。



電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う



必ず実施

電源は、交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う

火災・感電の原因になります。

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でよく拭き取る

湿気などで絶縁が低下し、発火・感電の原因になります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートによる発火・感電の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

ショートによる発火・感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。

電源コードを傷つけない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしない

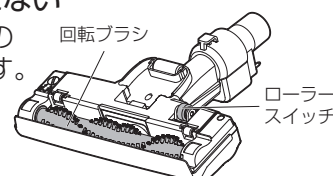
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

フロアヘッドの回転ブラシやローラースイッチに触れない

けがややけどの原因になります。



⚠ 注意



禁止

火気に近づけない

本体・電源コードなどが変形・ショートし、発火の原因になります。
また、排気で炎が大きくなり、火災の原因になります。



禁止

運転中にダストカップを取り外さない

けがをしたり、本体が破損・故障したりする原因になります。



禁止

排気口をふさがない

過熱による本体の変形・故障・発火の原因になります。



禁止

本体や延長パイプなどに乗ったり 子どもに遊ばせたりしない

けがをしたり、本体や延長パイプなどが破損したりする原因になります。



禁止

破れたり、破損したフィルターは使わない

故障・性能低下の原因になります。

フロアヘッドのローラーや回転ブラシが摩耗したり破損している場合は使わない
床にきずが付く原因になります。



必ず実施

ストラップを取り付けたときは、金具を
しっかり閉じる
持ち上げるときは、必ずハンドルかスト
ラップを持つ

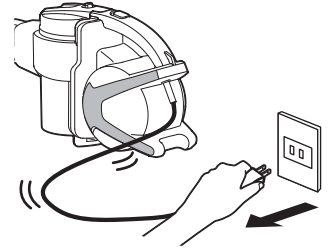
本体が落下し、けがをしたり、破損したり、
床にきずを付けたりする原因になります。



必ず実施

電源プラグを抜くときは、電源コードを
持たずに電源プラグを持って引き抜く

電源コードが断線したり、ショートによっ
て発火・感電したりする原因になります。



使用時以外は、電源プラグをコンセント
から抜く

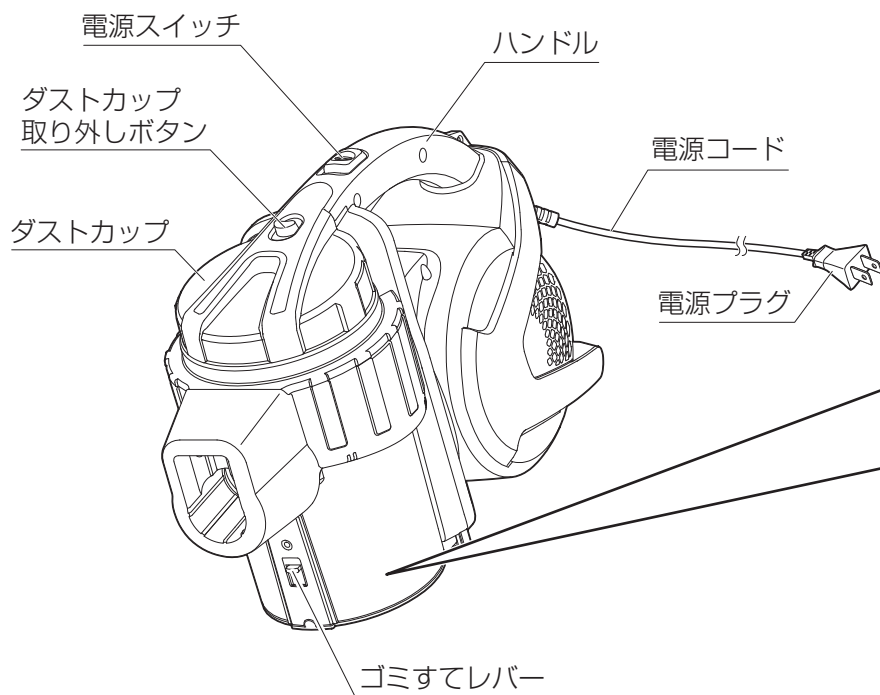
絶縁低下により漏電し、火災・感電の原因
になります。

使用上のお願い

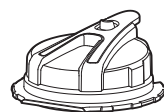
- この掃除機は室内用です。屋外では使わないでください。
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったごみ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のごみ・大きなごみ・ビニール類は集中して吸わせないでください。吸引力が低下する原因になります。
- フロアヘッド・小型ブラシ・すきまノズルを床・壁・家具などに強く押し付けしないでください。
また、本体を柱・壁・家具などにぶつけないでください。きずが付いたり破損する原因になります。
- ダストカップ内のごみは「ゴミすてライン」以上になる前に捨ててください。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。

各部の名称

■本体



ダストカップ構成部品



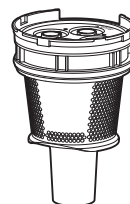
ダストカップふた



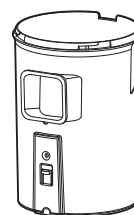
排気フィルター



スポンジフィルター

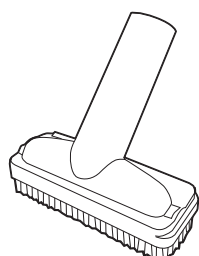
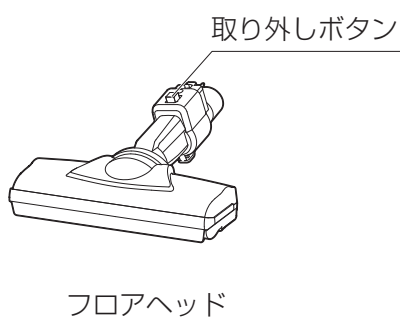
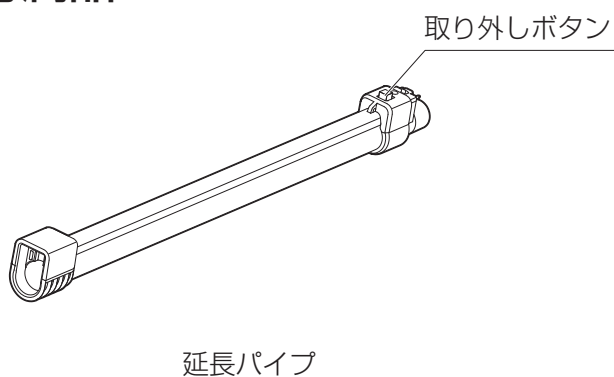


サイクロンユニット



ダストカップ受け

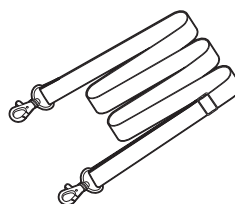
■付属品



小型ブラシ



すきまノズル



ストラップ

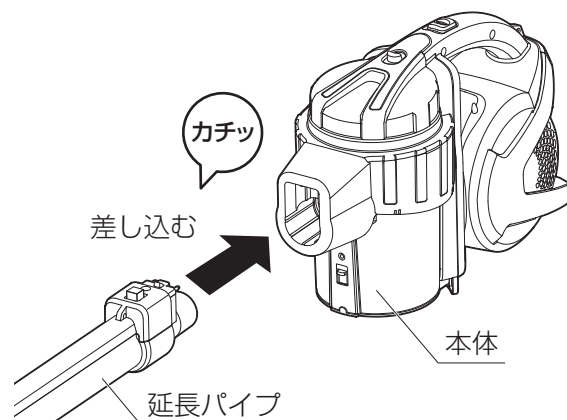


取扱説明書 (本書)

ご使用前の準備

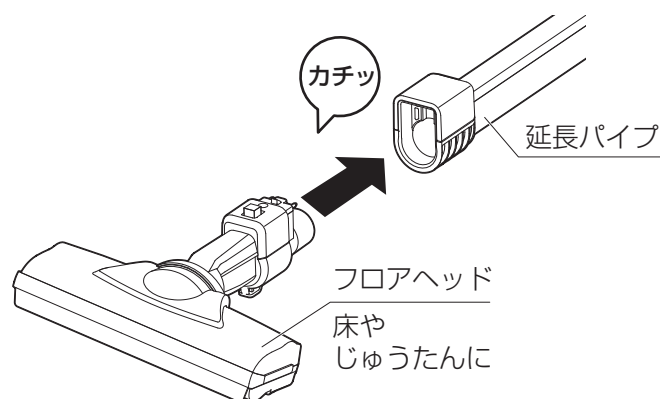
1 本体に延長パイプを取り付ける

延長パイプの向きを合わせて差し込みます。

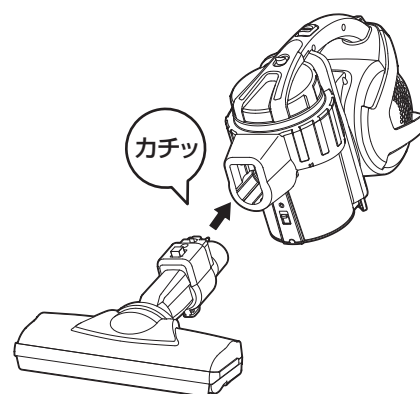
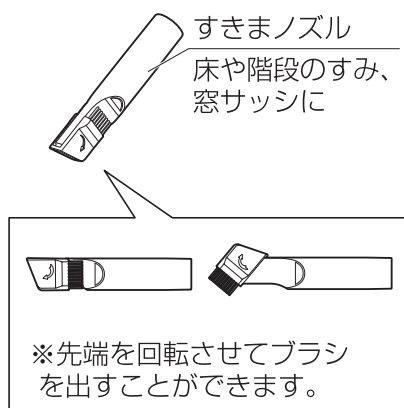
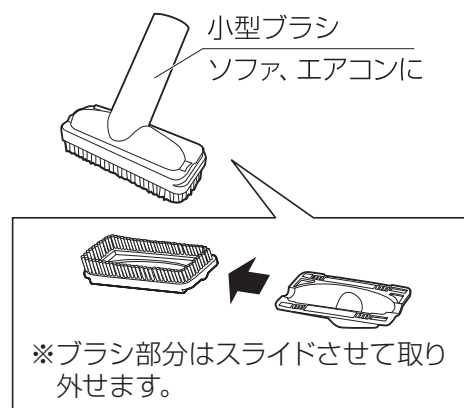


2 フロアヘッドを取り付ける。

フロアヘッドを延長パイプに取り付けます。



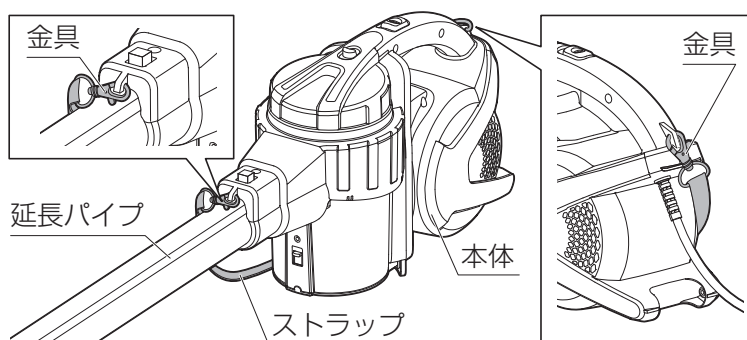
小型ブラシやすきまノズルを取り付けてもお使いいただけます。
また、本体に直接取り付けてハンディとしてもお使いいただけます。



本体と延長パイプにストラップを取り付けて肩にかけて使用することができます。

⚠ 注意

- ストラップの金具は使用中に外れないようにしっかり閉じてください。
本体が落下し、けがをしたり、破損したり、床にきずを付けたりする原因になります。



使いかた

⚠ 注意

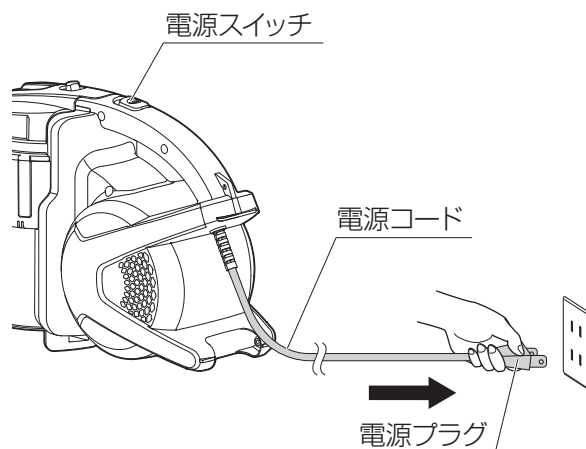
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったごみ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のごみ・大きなごみ・ビニール類は集中して吸わせないでください。
吸込力の低下や詰まりの原因になります。
- フィルターや延長パイプ、フロアヘッドが目詰まりした状態で使用し続けると、モーターが過熱し、安全のために製品の電源が一時的に切れますが、冷えると復旧します。(P14参照)

1 電源プラグを差し込む

⚠ 注意

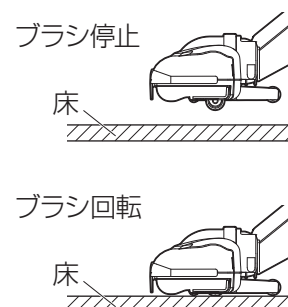
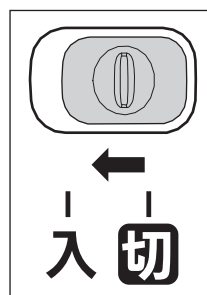
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

電源プラグをコンセントに差し込みます。



2 電源を入れる (運転開始)

- 電源スイッチをスライドさせて電源を入れます。
フロアヘッドが床にしていると回転ブラシが回転し、ほこりをかき上げ、吸い込みます。
- 回転ブラシは、フロアヘッドを床から浮かすと停止しますが、床につけると回転します。

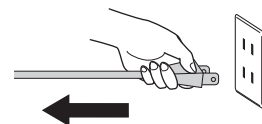
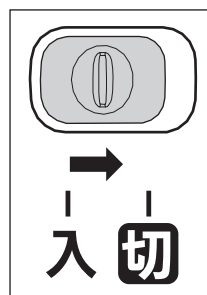


3 電源を切る

- 電源スイッチをスライドさせて電源を切ります。
吸引と、フロアヘッドの回転ブラシの回転が止まります。
- その後、電源プラグを持ってコンセントから抜きます。

⚠ 注意

- ご使用が終わったら必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。
(接続したまま放置しないでください。)



収納のしかた

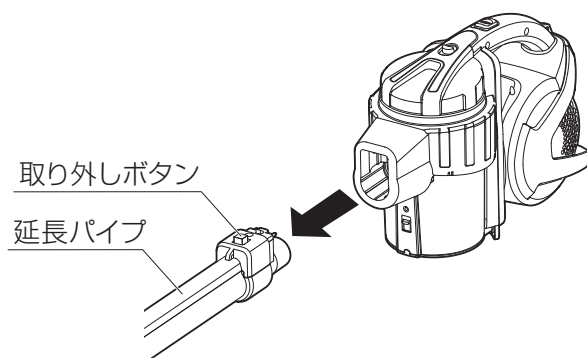


注意

- ご使用が終わったら電源コードは、必ず片付けてください。小さいお子様などがコードで遊ぶと大変危険です。また電源プラグを誤って踏んだりするとけがの原因になります。
- フロアヘッドを収納フックに差し込んだ状態のままで持ち運ばないでください。フロアヘッドや延長パイプが落下し、けがをしたり、床にきずを付けたりする原因になります。

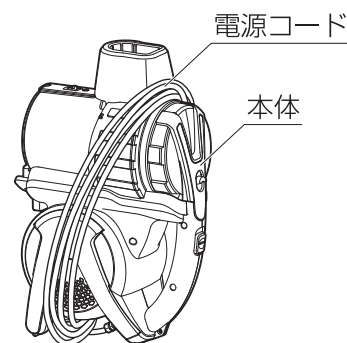
1 本体から延長パイプを取り外し、本体を立てます。

①延長パイプの取り外しボタンを押しながら本体から引き抜きます。

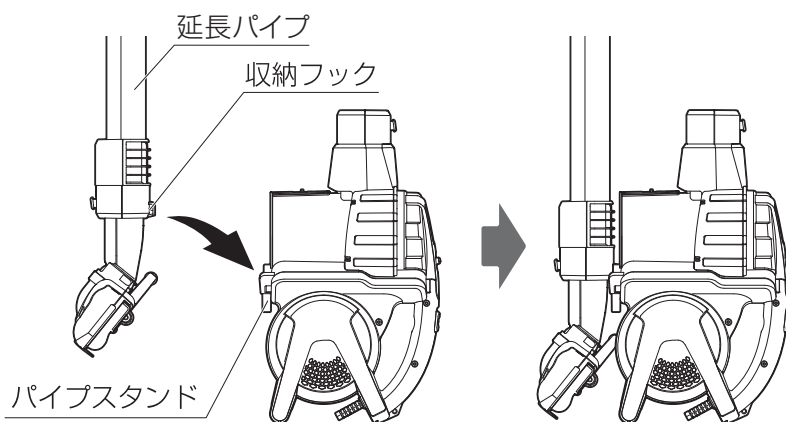


②電源コードを本体に巻き付けます。

③本体を立てて置きます。

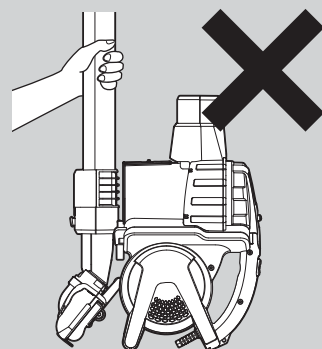


2 フロアヘッド側の収納フックを、パイプスタンドに差し込みます。



注意

延長パイプを持って持ち運ばないでください。本体が落下し、けがをしたり、破損したり、床にきずを付けたりする原因になります。



ごみの捨てかた

■ダストカップからごみを捨てる

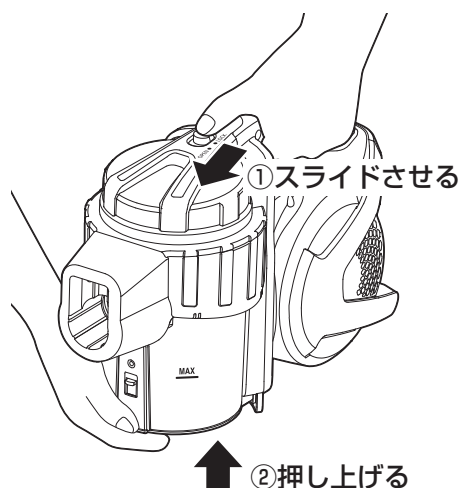
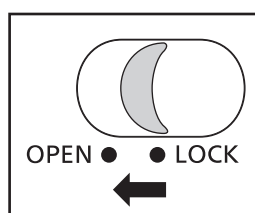
⚠ 注意

- ダストカップの「ごみすてライン」以上ごみをためないでください。吸引力が低下します。
- ごみはこまめに捨ててください。
- 安全のために、ダストカップからごみを捨てる際には、必ず電源を「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 本体運転中にダストカップを取り外さないでください。



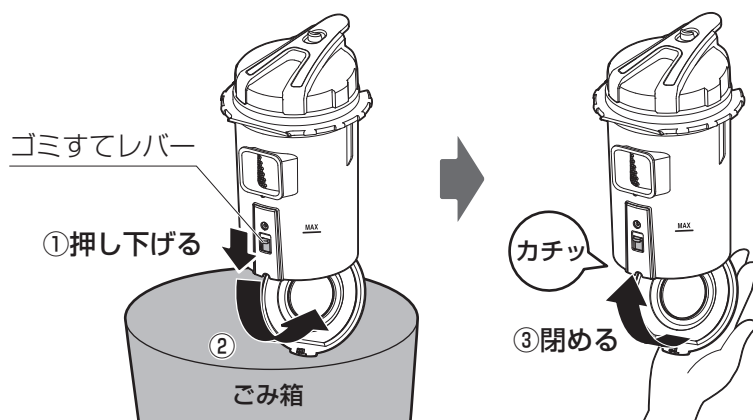
1 ダストカップを取り外す

- ①ダストカップのレバーをスライドさせて「OPEN●」に合わせます。
 - ②ダストカップを下からゆっくり押し上げ、本体から引き抜きます。
- ※レバーをスライドさせずに無理に取り外さないでください。



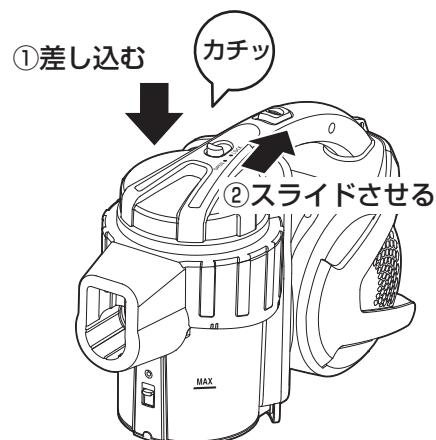
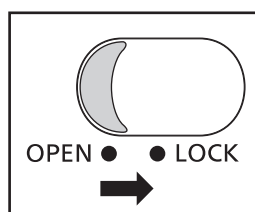
2 ごみを捨てる

- ①ダストカップ受け下部のゴミすてレバーを押し下げます。
- ②底ふたが開き、ごみを落とすことができます。
- ③手でダストカップの底ふたをしっかりと閉めます。



3 ダストカップを本体に取り付ける

- ①ダストカップを上から差し込み、本体に取り付けます。
- ②レバーをスライドさせて「●LOCK」に合わせます。



お手入れのしかた



警告

●お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ダストカップやフィルター類はこまめにお手入れをしてください。ほこりや汚れがたまったら使用すると、モーターが発熱し故障の原因になります。



注意

特に、「排気フィルター」と「スポンジフィルター」は、最低1ヶ月に一度は表と裏のみぞにあるほこりや汚れをきれいに落としてください。

※1ヶ月は目安です。ごみの種類や使用頻度によって、お手入れの頻度は異なります。



排気フィルター



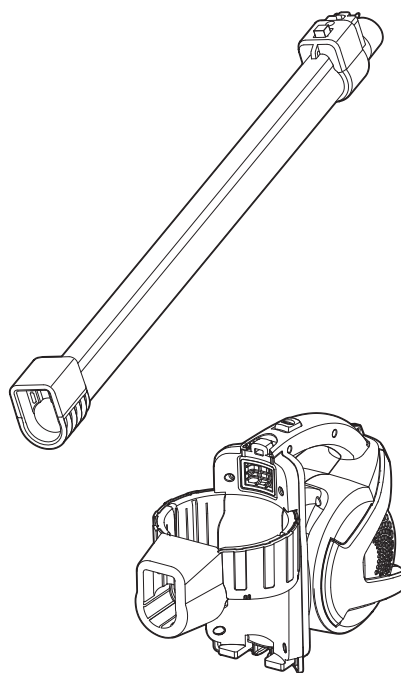
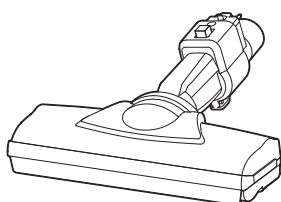
スポンジフィルター

※お手入れしても吸引力が低下した場合は、フィルターを交換してください。

■本体、付属品のお手入れ

布に水または薄めた中性洗剤を含ませ十分によく絞ってから拭いてください。

※お手入れにシンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性洗剤、漂白剤などを使用しないでください。変色、変形、変質、破損し、故障の原因になります。

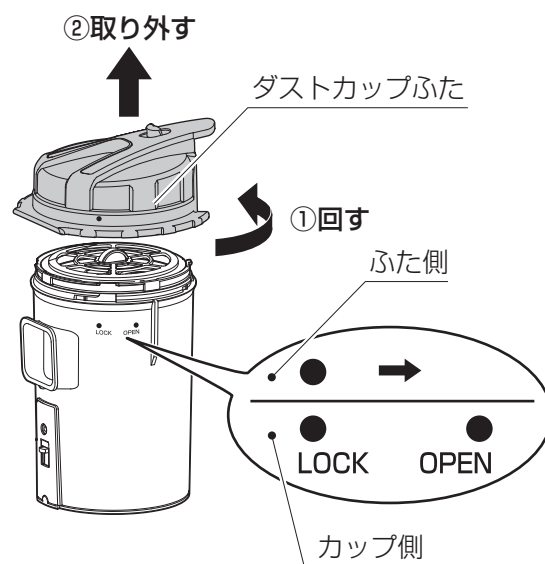


■ダストカップ、フィルター類のお手入れ

1 ダストカップを本体から取り外す（P8参照）

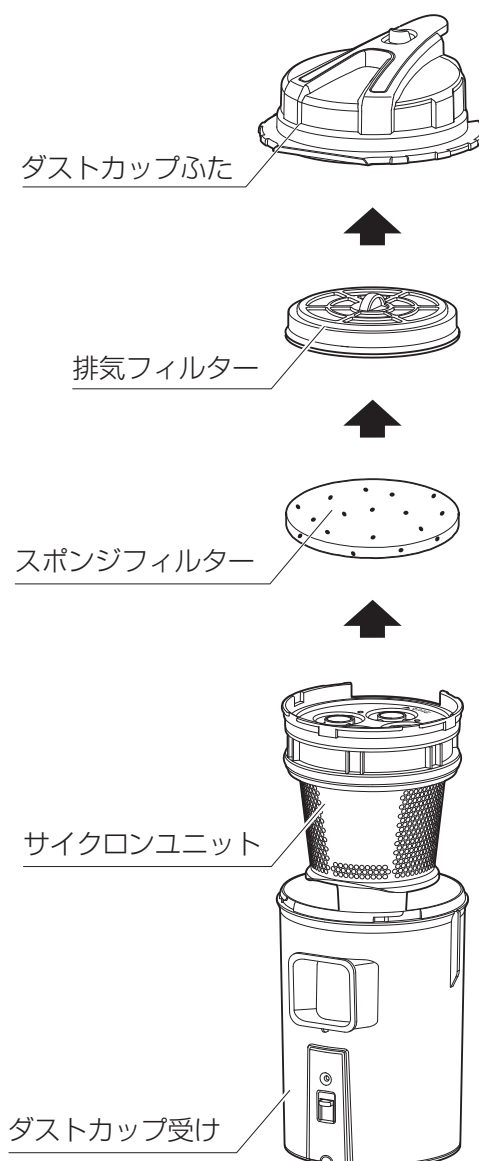
2 ダストカップふたを取り外す

- ①ダストカップふたを回します。
- ②ダストカップふたを取り外します。

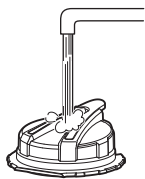


3 フィルター、サイクロンユニットを取り外す

※スポンジフィルターは、排気フィルターの下側にはまっています。



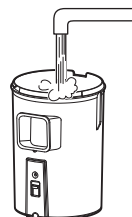
4 水洗いをする



ダストカップふた

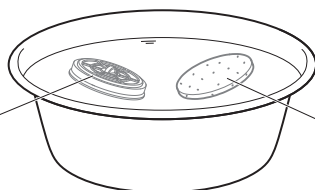


サイクロンユニット



ダストカップ受け

流水で汚れを落としてください。



排気フィルター

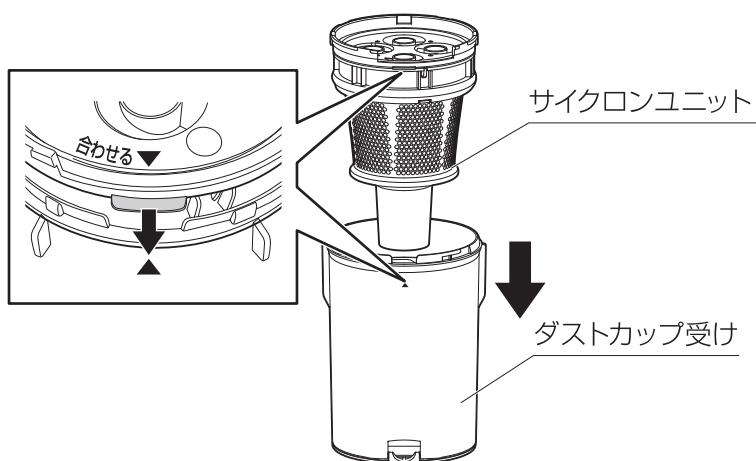
スポンジフィルター

フィルターは、水で薄めた中性洗剤でもみ洗いしてください。洗った後はよくゆすいで、しっかり乾燥させてください。

5 本体に取り付ける

十分に各部品を乾燥させてから、逆の手順で本体に取り付けます。

※サイクロンユニット側の「▼」とダストカップ受け側の「▲」を図のように合わせて取り付けてください。



注意

- 表面が乾いていても内部に水分が残っている場合があります。風通しが良い場所で十分に乾燥させてください。乾燥させないで使用すると、水分がモーターに付着し、故障の原因になります。
- お手入れしても汚れが取れなくなった場合や、吸引力が低下した場合は、フィルターを交換してください。

■回転ブラシの水洗い

フロアヘッドの回転ブラシは取り外して水洗いすることができます。

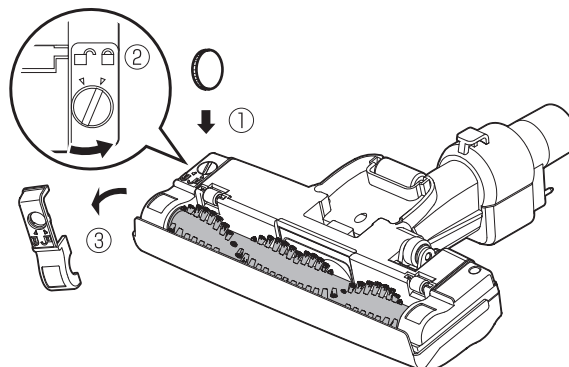


注意

●絶対にフロアヘッド自体を、濡らしたり、水洗いしたりしないでください。
火災・感電の原因になります。

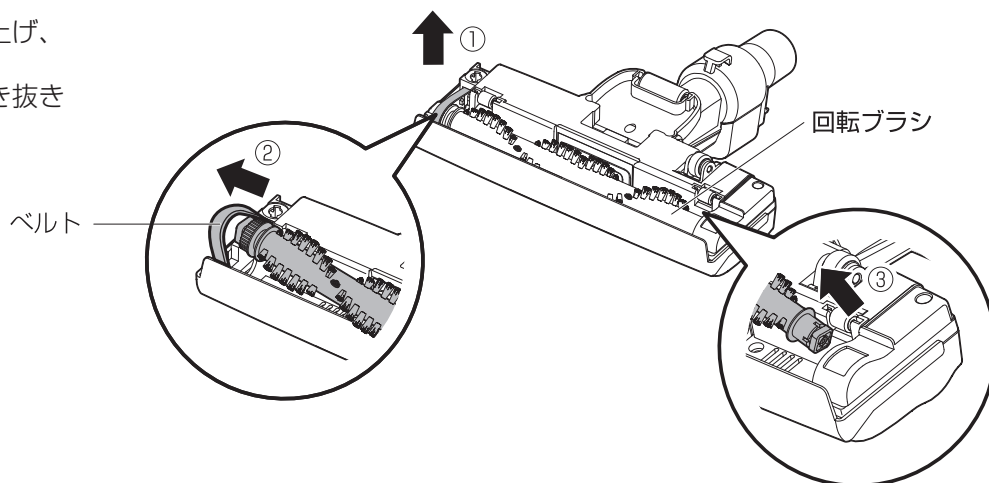
1 ブラシカバーを外す

- ①ロックの溝に合ったコインやマイナスドライバーなどを使い、
- ②ロックを図のように回して解除し、
- ③ブラシカバーを外します。



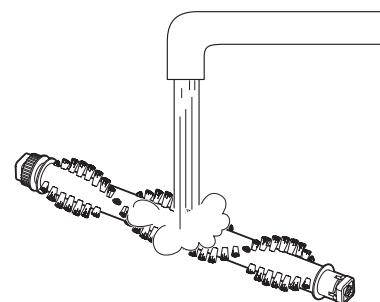
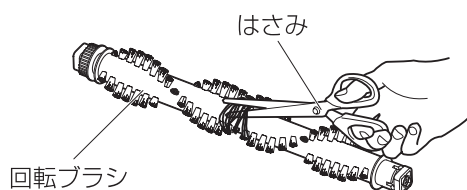
2 回転ブラシを外す

- ①ベルトごと回転ブラシを持ち上げ、
- ②回転ブラシからベルトを外し、
- ③矢印の方向に回転ブラシを引き抜きます。



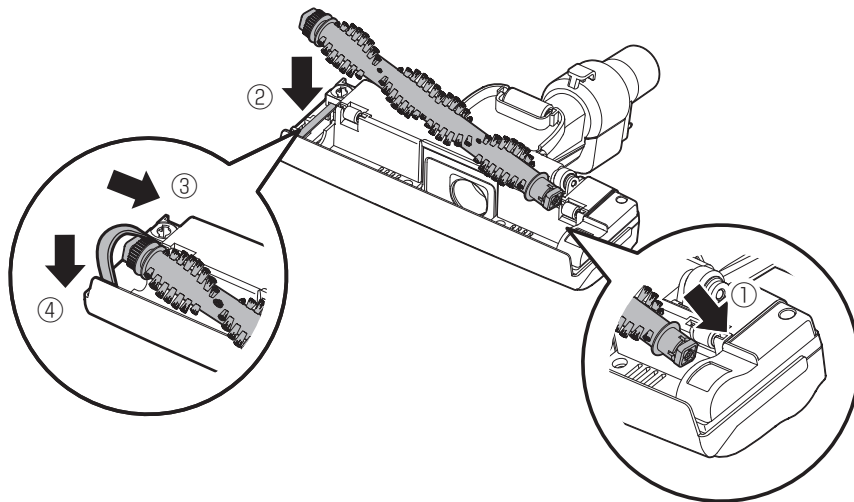
3 回転ブラシを水洗いし、十分に乾燥させる

※回転ブラシにゴミがからみついているときは、先に回転ブラシの毛を切らないようにはさみで切って取り除いてください。



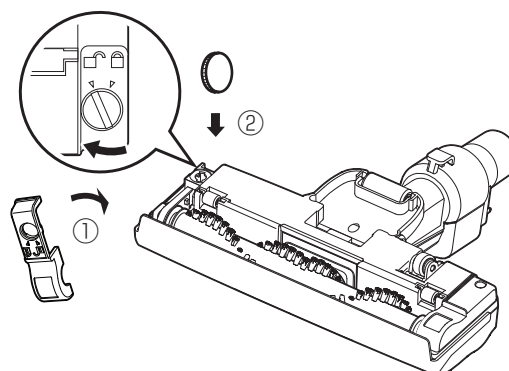
4 回転ブラシを取り付ける

- ①回転ブラシの歯車が付いていないほうを図のように差し込み、
- ②回転ブラシを下げて、
- ③回転ブラシの歯車にベルトをかけ、
- ④回転ブラシをはめこみます。



5 ブラシカバーを取り付ける

- ①ブラシカバーをはめ、
- ②ロックの溝に合ったコインやマイナスドライバーなどを使い、
- ③ロックを図のように回し、ブラシカバーを固定します。



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
運転しない	●コンセントに電源プラグが正しく接続されていない	●電源プラグをしっかりと再接続し、電源スイッチを再度入れる。(P6参照)
	●フィルター類にごみやほこりがたまっている	●保護装置の説明にしたがい処置をする。(P14参照)
吸引力が低下した	●フロアヘッド、延長パイプ、小型ブラシ、すきまノズルが詰まっている	●中を点検し、詰まっているものを取り除く。
	●ダストカップの「ごみすてライン」以上にごみがある	●ダストカップのごみを捨てる。
運転音が大きくなった	●フィルター類にごみやほこりがたまっている	●フィルターのお手入れをする。 ※お手入れしても吸引力が低下した場合は、フィルターを交換してください。
	●ダストカップが本体にきちんと取り付けられていない	●一度本体からダストカップを取り外し、カバーの状態を確認する。(P10、11、12、13、15参照)
本体やハンドルが温まる	●フィルターの汚れがひどい	●詰まっているごみを取り除く。
	●吸込口やノズルに大きなごみが詰まっている	
フロアヘッドの回転ブラシが止まる	●モーターの発熱により温かくなりますが、異常ではありません。	
	●フロアヘッドを床面から浮かせたので、安全のために回転ブラシが止まった	●しずかに下ろす。(P6参照) ※ふたたび回転する。
	●フロアヘッドの回転ブラシにゴムやひもなどが巻きついたり、大きなごみが詰まっている	●ひもやゴム、大きなごみなどを取り除く。(P12、13参照)
	●保護装置が働いている	●保護装置の説明にしたがい処置をする。(P14参照)

保護装置について

フィルターやパイプが目詰まりした状態で使用し続けるとモーターの過熱防止のため保護装置が働き、電源を入れても一時的に電源が入らなくなります。

- ＜処置の仕方＞
1. 本体の電源を切ったあと、電源プラグをコンセントから抜く。
 2. ダストカップのごみを捨て、フィルター類をお手入れする。(取扱説明書P9～13参照)
 3. フロアヘッド、延長パイプなどが詰まっていないことを確認する。
 4. 涼しい場所におく。

約1時間後、保護装置が解除され再び使用できます。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

- ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

電 源	AC100V (50Hz/60Hz共通)	質 量	約3.0kg (フロアヘッド、パイプ含む)
消 費 電 力	600W	本体寸法	幅126×奥行333×高さ215mm
吸込仕事率	60W		
集 塵 容 積	0.35L	コード長	4.8m

セット内容

掃除機本体、フロアヘッド(1個)、小型ブラシ(1個)、すきまノズル(1個)、延長パイプ(1本)、排気フィルター/スポンジフィルター(各1個本体セット済み)、ストラップ(1本)、取扱説明書(本書)

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

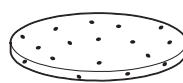
■ 消耗部品について

排気フィルター、スポンジフィルターは消耗品です。

お手入れしても汚れが取れなくなった場合や、吸引力が低下した場合は、フィルターを交換してください。消耗品のお求めは、お買い上げの販売店または、アイリスコールまでご連絡ください。



排気フィルター



スポンジフィルター



注意 ●安全のため、フィルターは必ず取り付けて使用してください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買上げの際に、所定の事項が記入されている保証書を販売店より必ずお受け取りください。

保証書がありませんと、無料修理保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、お買上げ日より1年間です。

無料修理保証期間中に故障が起きた場合は、保証書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

詳しくは、保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お求めの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

弊社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、最低5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについてご不明な点は

お買上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

スティッククリーナー IC-SM1

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お 客 様	ご芳名		
	ご住所 〒		
	電話 () -		
※ 販 売 店	住所・店名		
	電話 () -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居やご贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

製品に関するお問い合わせは **アイリスコール**（通話料無料）に

受付時間 9:00～17:00

（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは **修理専用コール**（通話料無料）に

受付時間 9:00～17:00

（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

0800-170-7070

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

170415-KTK-WYT-01
P170415-KTK-WYT-01